

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ
 コード番号 8354 URL <http://www.fukuoka-fg.com/>
 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 谷 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 吉田 泰彦
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日 特定取引勘定設置の有無 有

上場取引所 東 大 福

TEL 092-723-2502

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	213,378	—	10,711	—	951	—
20年3月期第3四半期	197,492	—	39,232	—	21,694	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	0.95	—
20年3月期第3四半期	27.25	—

(注)当社は、平成19年4月2日設立のため、平成20年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率についても記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	11,370,878	578,578	4.4	575.63
20年3月期	11,363,902	592,516	4.5	586.47

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 502,524百万円 20年3月期 511,672百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(第二基準)」は、確定次第別途開示いたします。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	4.50	—	2.50	7.00
21年3月期	—	4.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注2)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、2ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	4.4	3,500	△86.5	26,000	—	30.05

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) — 除外 — 社(社名) —

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3～4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3～4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	859,761,868株	20年3月期	859,761,868株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	3,056,600株	20年3月期	3,512,044株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	856,398,058株	20年3月期第3四半期	791,036,084株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

■ 第一種優先株式

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7 00	—	7 00	14 00
21年3月期	—	7 00			14 00
21年3月期(予想)			—	7 00	

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の連結経常収益は、貸出金利息の増強等に努めました結果、2,133億7千8百万円となりました。連結経常収益の主な内訳は、資金運用収益が1,621億7百万円、役務取引等収益が326億8千万円、その他業務収益が88億6千4百万円、その他経常収益が95億2千2百万円となりました。なお、資金運用収益のうち、貸出金利息は1,298億1千8百万円、有価証券利息配当金は271億8千万円となりました。一方、連結経常費用は、有価証券の減損や信用コストの増加等により2,026億6千6百万円となりました。連結経常費用の主な内訳は、資金調達費用が361億1千6百万円、役務取引等費用が124億4千6百万円、その他業務費用が191億7千2百万円、営業経費が981億4千6百万円、その他経常費用が367億8千5百万円となりました。

この結果、連結経常利益は107億1千1百万円、連結四半期純利益は9億5千1百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 預金・譲渡性預金

預金・譲渡性預金の期末残高は、個人預金が堅調に推移しました結果、前年度末比1,416億円増加し10兆2,490億円となりました。

(2) 貸出金

貸出金の期末残高は、住宅ローンが堅調に推移しました結果、前年度末比1,257億円増加し8兆1,032億円となりました。

(3) 有価証券

有価証券の期末残高は、安全性と収益性の両面に留意して投資の多様化を図りました結果、前年度末比630億円減少し2兆3,008億円となりました。

(4) 資産運用商品

3行合算の個人預かり資産運用商品の期末残高は、投資信託残高の減少を主因に、前年度末比581億円減少し1兆2,583億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年12月26日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

【簡便な会計処理】

(減価償却費の算定方法)

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算出しております。

(貸倒引当金の計上方法)

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、中間連結会計期間末の予想損失率等を適用して計上しております。

(繰延税金資産の回収可能性の判断)

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について中間連結会計期間末から大幅な変動がないと認められるため、当該中間連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の処理)

当社及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。なお、連結損益計算書上における法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期財務諸表に関する会計基準)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

一部の連結子会社において保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)により算定しております。

この変更により、税金等調整前四半期純利益は158百万円減少しております。

(リース取引に関する会計基準)

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号平成19年3月30日)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号同前)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用できることになったため、第1四半期連結会計期間から同会計基準及び適用指針を適用しております。また、当該取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる連結貸借対照表等に与える影響は軽微であります。

なお、リース取引開始日が平成20年4月1日以前に開始する連結会計年度に属する所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っております。

(4) 追加情報

(有価証券に係る時価の算定方法の一部変更)

保有する有価証券のうち、変動利付国債については、従来、連結決算日の市場価格等をもって貸借対照表価額としておりましたが、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第25号 平成20年10月28日)を踏まえ、当第3四半期連結会計期間においては、合理的に算定された価額をもって貸借対照表価額としております。

これにより、市場価格等をもって貸借対照表価額とした場合に比べ、「有価証券」が199億8千7百万円増加、「繰延税金資産」が63億1千万円減少、「その他有価証券評価差額金」が136億円7千7百万円増加しております。

なお、変動利付国債の合理的に算定された価額は、国債の利回り等から見積もった将来のキャッシュフローを、国債の利回り曲線に基づく割引率を用いて割引くことにより算定しており、国債の利回りが主な価格決定変数であります。

また、当社グループが保有する有価証券の減損判定基準を金融環境の変化等をふまえて、一部改定しております。従来は、その他有価証券で時価があるもののうち、時価が取得価額の30%以上下落した銘柄については全て当該時価をもって連結貸借対照表価額とするとともに、評価差額を損失として減損処理しておりましたが、平成20年4月より時価が30%以上50%未満下落した銘柄については、債務者区分や時価推移によって時価の回復可能性を総合的に判断する基準を設け、回復の見込みがあると認められないものについて減損処理を行っております。この変更により、有価証券の減損額は、当第3四半期(9ヶ月累計)では140億6千5百万円減少しております。

(会社分割にかかる事項)

当社の100%子会社である株式会社熊本ファミリー銀行(以下「熊本ファミリー銀行」)、株式会社親和銀行(以下「親和銀行」)および株式会社福岡銀行(以下「福岡銀行」)は、それぞれ平成20年12月26日開催の取締役会において、関係当局の認可等を前提に、平成21年2月13日を効力発生日として、熊本ファミリー銀行および親和銀行が有する事業再生事業および不良債権関連事業を吸収分割により、福岡銀行に承継することを決議し、同日付で吸収分割契約を締結いたしました。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金預け金	371,051	347,944
コールローン及び買入手形	2,457	76,557
買入金銭債権	158,147	174,736
特定取引資産	2,205	10,425
金銭の信託	—	3,524
有価証券	2,300,803	2,363,835
貸出金	8,103,260	7,977,486
外国為替	6,070	5,140
その他資産	139,924	126,470
有形固定資産	185,753	180,645
無形固定資産	186,370	189,400
繰延税金資産	67,961	63,082
支払承諾見返	80,267	88,845
貸倒引当金	△ 233,283	△244,105
投資損失引当金	△ 110	△88
資産の部合計	11,370,878	11,363,902
(負債の部)		
預金	9,863,701	9,837,935
譲渡性預金	385,318	269,481
コールマネー及び売渡手形	3,641	2,504
債券貸借取引受入担保金	28,130	42,371
特定取引負債	2	7
借入金	96,764	203,808
外国為替	162	782
短期社債	20,000	50,000
社債	153,971	133,796
その他負債	122,051	101,224
退職給付引当金	764	2,266
利息返還損失引当金	1,134	1,162
睡眠預金払戻損失引当金	3,397	3,838
その他の偶発損失引当金	430	272
再評価に係る繰延税金負債	32,282	32,779
負ののれん	279	307
支払承諾	80,267	88,845
負債の部合計	10,792,300	10,771,385
(純資産の部)		
資本金	124,799	124,799
資本剰余金	104,264	104,697
利益剰余金	220,431	224,572
自己株式	△ 2,501	△3,206
(株主資本合計)	(446,993)	(450,862)
その他有価証券評価差額金	15,968	17,348
繰延ヘッジ損益	△ 7,170	△4,008
土地再評価差額金	46,733	47,469
(評価・換算差額等合計)	(55,530)	(60,809)
少数株主持分	76,053	80,844
純資産の部合計	578,578	592,516
負債及び純資産の部合計	11,370,878	11,363,902

(2) 四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

科 目	当第3四半期連結累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）
	金 額
経常収益	213,378
資金運用収益	162,107
（うち貸出金利息）	(129,818)
（うち有価証券利息配当金）	(27,180)
役務取引等収益	32,680
特定取引収益	205
その他業務収益	8,864
その他経常収益	9,522
経常費用	202,666
資金調達費用	36,116
（うち預金利息）	(21,385)
役務取引等費用	12,446
その他業務費用	19,172
営業経費	98,146
その他経常費用	36,785
経常利益	10,711
特別利益	2,254
固定資産処分益	717
償却債権取立益	1,536
特別損失	2,968
固定資産処分損	2,093
減損損失	404
その他の特別損失	471
税金等調整前四半期純利益	9,997
法人税等	7,650
少数株主利益	1,395
四半期純利益	951

（注）法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考情報】

四半期連結損益計算書（前第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

科 目	前第3四半期連結累計期間 （自 平成19年4月2日 至 平成19年12月31日）
	金 額
経常収益	197,492
資金運用収益	144,866
（うち貸出金利息）	(111,258)
（うち有価証券利息配当金）	(29,081)
役務取引等収益	30,972
特定取引収益	386
その他業務収益	13,457
その他経常収益	7,809
経常費用	158,259
資金調達費用	35,629
（うち預金利息）	(17,248)
役務取引等費用	10,736
特定取引費用	0
その他業務費用	10,065
営業経費	81,510
その他経常費用	20,317
経常利益	39,232
特別利益	1,378
固定資産処分益	63
償却債権取立益	1,313
その他の特別利益	1
特別損失	2,446
固定資産処分損	827
減損損失	865
その他の特別損失	752
税金等調整前四半期純利益	38,165
法人税等	15,703
少数株主利益	767
四半期純利益	21,694

（注）法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【参考】

平成21年3月期 第3四半期決算短信（株式会社 福岡銀行）

平成21年2月6日

会 社 名 株式会社 福岡銀行

代 表 者 取締役頭取 谷 正 明

（URL <http://www.fukuokabank.co.jp/>）

問合せ先責任者 執行役員経営管理部長 吉 田 泰 彦

TEL（092）723-2622

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	経常収益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年3月期第3四半期	154,028 —	18,815 —	8,447 —
20年3月期第3四半期	159,278 19.0	23,092 △49.5	12,487 △54.0

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率（注）
	百万円	百万円	%
21年3月期第3四半期	8,239,026	463,527	5.0
20年3月期	8,095,508	466,659	5.1

（参考）自己資本 21年3月期第3四半期 412,543百万円 20年3月期 415,887百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分）を期末資産の部の合計で除して算出しております。

※その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【四半期連結財務諸表】

(1) 四半期連結貸借対照表

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金預け金	236,850	267,411
コールローン及び買入手形	2,457	48,557
債券貸借取引支払保証金	70,566	17,358
買入金銭債権	157,279	173,859
特定取引資産	1,937	9,749
有価証券	1,533,322	1,583,195
貸出金	5,950,316	5,733,703
外国為替	4,031	3,012
その他資産	123,508	107,394
有形固定資産	140,446	132,627
無形固定資産	10,104	9,510
繰延税金資産	31,935	26,824
支払承諾見返	73,958	62,728
貸倒引当金	△97,690	△80,424
資産の部合計	8,239,026	8,095,508
(負債の部)		
預金	6,930,651	6,801,098
譲渡性預金	327,617	224,412
コールマネー及び売渡手形	90,104	77,978
債券貸借取引受入担保金	28,130	42,371
特定取引負債	2	7
借入金	88,090	193,260
外国為替	159	759
社債	99,471	109,296
その他負債	100,242	79,053
退職給付引当金	464	459
利息返還損失引当金	1,102	1,115
睡眠預金払戻損失引当金	2,777	3,226
その他の偶発損失引当金	429	271
再評価に係る繰延税金負債	32,282	32,779
負ののれん	12	29
支払承諾	73,958	62,728
負債の部合計	7,775,498	7,628,849
(純資産の部)		
資本金	82,329	82,329
資本剰余金	60,587	60,587
利益剰余金	215,415	210,228
(株主資本合計)	(358,332)	(353,145)
その他有価証券評価差額金	14,648	19,281
繰延ヘッジ損益	△7,170	△4,008
土地再評価差額金	46,733	47,469
(評価・換算差額等合計)	(54,210)	(62,742)
少数株主持分	50,984	50,772
純資産の部合計	463,527	466,659
負債及び純資産の部合計	8,239,026	8,095,508

(2) 四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
	金 額
経常収益	154,028
資金運用収益	113,802
(うち貸出金利息)	(88,259)
(うち有価証券利息配当金)	(20,540)
役務取引等収益	23,018
特定取引収益	175
その他業務収益	9,317
その他経常収益	7,713
経常費用	135,213
資金調達費用	27,973
(うち預金利息)	(14,024)
役務取引等費用	8,612
その他業務費用	10,855
営業経費	60,083
その他経常費用	27,687
経常利益	18,815
特別利益	135
固定資産処分益	134
償却債権取立益	0
特別損失	1,116
固定資産処分損	1,100
減損損失	16
税金等調整前四半期純利益	17,833
法人税等	8,407
少数株主利益	978
四半期純利益	8,447

(注) 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

平成21年3月期 第3四半期決算短信（株式会社 熊本ファミリー銀行）

平成21年2月6日

会 社 名 株式会社 熊本ファミリー銀行

代 表 者 取締役頭取 鈴木 元

（URL <http://www.kf-bank.jp/>）

問合せ先責任者 経営管理部長 佐々木 二也

TEL（096）385-1116

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	経常収益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円
21年3月期第3四半期	25,559	373	119
20年3月期第3四半期	26,373	△1,069	△1,950

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率（注）
	百万円	百万円	％
21年3月期第3四半期	1,250,889	31,713	0.5
20年3月期	1,220,826	30,369	0.4

（参考）自己資本 21年3月期第3四半期 6,711百万円 20年3月期 5,367百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分）を期末資産の部の合計で除して算出しております。

※その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【四半期連結財務諸表】

(1) 四半期連結貸借対照表

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金預け金	30,196	25,230
コールローン及び買入手形	24,464	6,882
買入金銭債権	56	75
有価証券	221,198	227,029
貸出金	932,180	925,203
外国為替	483	613
その他資産	8,654	8,083
有形固定資産	19,781	19,024
無形固定資産	3,973	1,297
繰延税金資産	21,996	21,887
支払承諾見返	10,533	12,329
貸倒引当金	△22,627	△26,830
資産の部合計	1,250,889	1,220,826
(負債の部)		
預金	1,106,809	1,120,602
コールマネー及び売渡手形	—	10,000
債券貸借取引受入担保金	70,566	17,358
借入金	10,000	10,000
外国為替	—	6
社債	10,000	10,000
その他負債	8,997	7,837
退職給付引当金	5	24
利息返還損失引当金	7	2
睡眠預金払戻損失引当金	184	187
その他の偶発損失引当金	1	1
再評価に係る繰延税金負債	2,071	2,107
支払承諾	10,533	12,329
負債の部合計	1,219,176	1,190,457
(純資産の部)		
資本金	2,802	14,980
資本剰余金	2,802	6,249
利益剰余金	868	△14,929
(株主資本合計)	(6,472)	(6,301)
その他有価証券評価差額金	△532	△1,758
土地再評価差額金	771	824
(評価・換算差額等合計)	(239)	(△933)
少数株主持分	25,001	25,002
純資産の部合計	31,713	30,369
負債及び純資産の部合計	1,250,889	1,220,826

(2) 四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
	金 額
経常収益	25,559
資金運用収益	20,443
(うち貸出金利息)	(18,370)
(うち有価証券利息配当金)	(1,757)
役務取引等収益	3,358
その他業務収益	807
その他経常収益	949
経常費用	25,185
資金調達費用	3,576
(うち預金利息)	(2,905)
役務取引等費用	1,755
その他業務費用	1,887
営業経費	12,856
その他経常費用	5,109
経常利益	373
特別利益	135
固定資産処分益	28
償却債権取立益	106
その他の特別利益	0
特別損失	520
固定資産処分損	73
減損損失	113
その他の特別損失	333
税金等調整前四半期純損失(△)	△10
法人税等	△129
少数株主損失(△)	△0
四半期純利益	119

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

平成21年3月期 第3四半期決算短信（株式会社 親和銀行）

平成21年2月6日

会 社 名 株式会社 親和銀行

代 表 者 取締役頭取 鬼 木 和 夫

(URL <http://www.shinwabank.co.jp/>)

問合せ先責任者 執行役員経営管理部長 小 川 正 信

TEL (0956) 23-3579

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年3月期第3四半期	38,925 —	△7,060 —	△1,889 —
20年3月期第3四半期	42,285 △10.2	△89,269 —	△95,389 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率（注）
	百万円	百万円	%
21年3月期第3四半期	2,036,099	70,175	3.4
20年3月期	2,114,017	73,714	3.2

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 70,107百万円 20年3月期 68,644百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

※その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【四半期連結財務諸表】

(1) 四半期連結貸借対照表

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金預け金	108,259	58,748
コールローン及び買入手形	61,998	106,591
買入金銭債権	811	801
商品有価証券	267	676
金銭の信託	—	3,524
有価証券	572,738	580,836
貸出金	1,303,112	1,399,872
外国為替	1,555	1,514
その他資産	11,649	8,448
有形固定資産	47,198	50,739
無形固定資産	1,839	1,259
繰延税金資産	22,039	24,176
支払承諾見返	17,769	13,792
貸倒引当金	△113,029	△136,875
投資損失引当金	△110	△88
資産の部合計	2,036,099	2,114,017
(負債の部)		
預金	1,834,272	1,921,357
譲渡性預金	57,701	45,068
借入金	11,023	11,841
外国為替	2	16
社債	15,000	15,000
その他負債	13,901	15,057
退職給付引当金	3,412	4,273
睡眠預金払戻損失引当金	436	423
再評価に係る繰延税金負債	12,136	13,194
負ののれん	266	277
支払承諾	17,769	13,792
負債の部合計	1,965,924	2,040,302
(純資産の部)		
資本金	25,831	93,781
資本剰余金	25,831	56,249
利益剰余金	1,543	△96,480
(株主資本合計)	(53,206)	(53,550)
その他有価証券評価差額金	885	△2,466
土地再評価差額金	16,015	17,560
(評価・換算差額等合計)	(16,900)	(15,094)
少数株主持分	67	5,069
純資産の部合計	70,175	73,714
負債及び純資産の部合計	2,036,099	2,114,017

(2) 四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
	金 額
経常収益	38,925
資金運用収益	29,391
(うち貸出金利息)	(24,007)
(うち有価証券利息配当金)	(4,336)
役務取引等収益	6,625
その他業務収益	418
その他経常収益	2,489
経常費用	45,985
資金調達費用	5,784
(うち預金利息)	(4,471)
役務取引等費用	2,263
その他業務費用	6,510
営業経費	20,625
その他経常費用	10,800
経常損失(△)	△ 7,060
特別利益	5,861
固定資産処分益	604
貸倒引当金戻入益	3,821
償却債権取立益	1,430
その他の特別利益	5
特別損失	1,453
固定資産処分損	929
減損損失	385
その他の特別損失	137
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,652
法人税等	△761
少数株主損失(△)	△ 1
四半期純損失(△)	△1,889

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

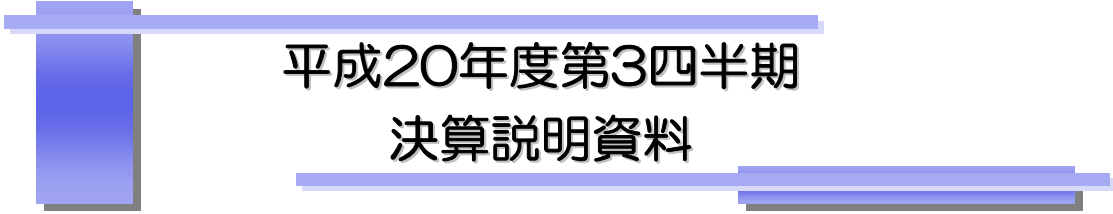
当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



平成20年度第3四半期 決算説明資料

あなたのいちばんに。



ふくおかフィナンシャルグループ

 福岡銀行

 熊本ファミリー銀行

 親和銀行

1. 損益の状況

参考

FFG連結

	平成20年度 第3四半期 (9ヶ月)	平成19年度 第3四半期	前年同期比	【参考】 平成20年3月期
経常収益【2,900】	2,134	1,975	159	2,778
業務粗利益	1,361	1,333	28	1,783
資金利益	1,260	1,092	168	1,507
役務取引等利益	202	202	△0	270
特定取引利益	2	4	△2	4
その他業務利益	△103	34	△137	2
うち国債等債券損益	△142	△16	△126	△79
経費(除く臨時処理分)	965	810	155	1,116
①一般貸倒引当金繰入額	△113	△50	△63	△123
業務純益	509	573	△64	790
コア業務純益	538	538	△0	746
臨時損益等	△402	△180	△222	△532
②不良債権処理額	396	155	241	433
③特定海外債権引当勘定繰入額	-	△1	1	△1
(信用コスト①+②+③-④)	(268)	(92)	(176)	(292)
株式等関係損益	30	△18	48	△85
その他臨時損益等	△36	△8	△28	△14
経常利益【35】	107	392	△285	259
特別損益	△7	△11	4	△34
④うち償却債権取立益	15	13	2	17
税引前四半期(当期)純利益	100	382	△282	225
四半期(当期)純利益【260】	10	217	△207	13

3行グループ合算

(単位:億円)

	平成20年度 第3四半期	前年同期比
経常収益	2,185	△94
業務粗利益	1,381	△163
資金利益	1,263	△15
役務取引等利益	204	△34
特定取引利益	2	△2
その他業務利益	△87	△112
うち国債等債券損益	△143	△126
経費(除く臨時処理分)	916	△9
①一般貸倒引当金繰入額	△113	△400
業務純益	578	246
コア業務純益	608	△28
臨時損益等	△419	585
②不良債権処理額	396	△370
③特定海外債権引当勘定繰入額	-	1
(信用コスト①+②+③-④)	(268)	(△763)
株式等関係損益	12	219
その他臨時損益等	△35	△4
経常利益	160	832
特別損益	△8	40
④うち償却債権取立益	15	△6
税引前四半期(当期)純利益	152	872
四半期(当期)純利益	67	916

(注1)記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

(注2)コア業務純益(538億円) = 業務純益(509億円) + 一般貸倒引当金繰入額(△113億円) - 国債等債券損益(△142億円)

(注3)【 】は、平成20年12月26日に発表したFFG連結の平成20年度通期業績予想。

(注4)親和銀行及びその関連会社は、平成19年9月28日にFFGの連結対象子会社となりました。

したがって、「FFG連結」の平成19年度第3四半期には、親和銀行連結の19年度上期損益は含まれておりません。

ただし、「3行グループ合算」では、親和銀行連結の19年度上期損益を含めたうえで、前年同期比を算出しております。

■ 損益の推移(3Q実績)

■ 業績サマリー

経常収益 2,134億円

- 経常収益は、貸出金利息等資金運用収益の拡大に努めた結果、2,134億円となりました。

コア業務純益 538億円

- コア業務純益は、役務取引等利益の伸び悩みを経費削減等でカバーを図りましたが、前年同期並の538億円となりました。

経常利益 107億円

- 経常利益は、企業業績悪化に伴う信用コストの増加等を主因に107億円となりました。

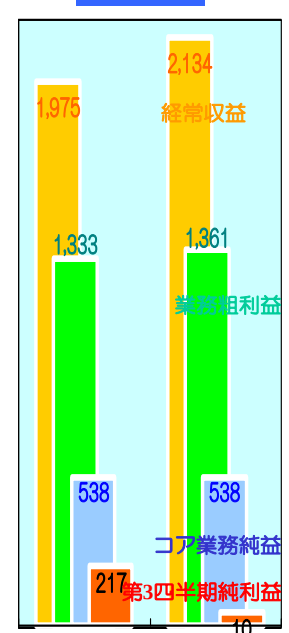
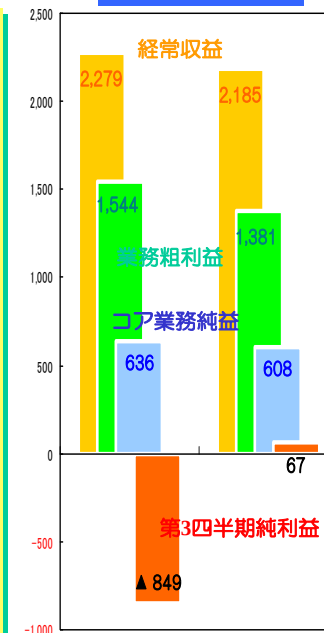
四半期純利益 10億円

- 四半期純利益は、以上により10億円となりました。

(億円)

3行グループ合算

FFG連結



19/3Q

20/3Q

19/3Q

20/3Q

福岡銀行単体

(単位:億円)

	平成20年度 第3四半期(9ヶ月)	平成19年度 第3四半期(9ヶ月)	前年同期比	(参考) 20年3月期
経常収益【2,050】	1,491	1,555	△64	2,127
業務粗利益	908	972	△64	1,258
資金利益	846	811	35	1,083
役務取引等利益	126	151	△25	193
特定取引利益	2	4	△2	4
その他業務利益	△67	7	△74	△21
うち国債等債券損益	△86	△15	△71	△55
うち外為売買損益	14	8	6	15
経費(除く臨時処理分)	552	555	△3	728
① 一般貸倒引当金繰入額	56	△8	64	△72
業務純益	300	426	△126	603
コア業務純益【580】	442	433	9	585
臨時損益等	△137	△220	83	△306
② 不良債権処理額	152	37	115	166
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	-	△1	1	△1
(信用コスト①+②+③-④)	(208)	(28)	(180)	(93)
株式等関係損益	31	△181	212	△150
その他臨時損益等	△16	△2	△14	10
経常利益【170】	163	206	△43	297
特別損益	△10	△13	3	△25
④ うち貸倒引当金純取崩益	-	-	-	-
税引前四半期(当期)純利益	153	193	△40	272
四半期(当期)純利益【290】	77	115	△38	174

(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

(注2) コア業務純益(442億円) = 業務純益(300億円) + 一般貸倒引当金繰入額(56億円) - 国債等債券損益(△86億円)

(注3) 【 】は、平成20年12月26日に発表した平成20年度通期業績予想。

■業績サマリー

経常収益 1,491億円

- 経常収益は、役務取引等収益の減少を主因に前年同期比▲64億円の1,491億円となりました。

コア業務純益 442億円

- コア業務純益は、貸出金利息の順調な伸びによる資金利益の増加が役務取引等利益の減少をカバーし、前年同期比+9億円の442億円となりました。

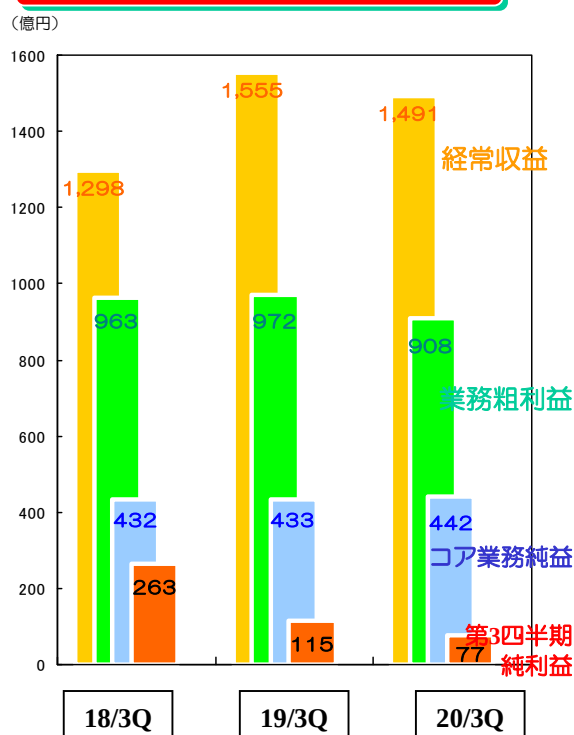
経常利益 163億円

- 経常利益は、株式等関係損益が改善したものの、信用コストが増加したため、前年同期比▲43億円の163億円となりました。

四半期純利益 77億円

- 四半期純利益は、以上により前年同期比▲38億円の77億円となりました。

■ 損益の推移(3Q実績)



熊本ファミリー銀行単体

(単位:億円)

	平成20年度 第3四半期(9ヶ月)	平成19年度 第3四半期(9ヶ月)	前年同期比	(参考) 20年3月期
経常収益 【350】	262	266	△4	351
業務粗利益	179	196	△17	261
資金利益	170	181	△11	237
役務取引等利益	15	17	△2	24
特定取引利益	-	-	-	-
その他業務利益	△7	△3	△4	△0
うち国債等債券損益	2	0	2	△0
うち外為売買損益	3	1	2	2
経費(除く臨時処理分)	122	136	△14	179
① 一般貸倒引当金繰入額	△15	△4	△11	△5
業務純益	72	64	8	87
コア業務純益 【60】	55	60	△5	82
臨時損益等	△66	△71	5	△185
② 不良債権処理額	45	49	△4	144
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	-	-	-	-
(信用コスト①+②+③-④-⑤)	(29)	(45)	(△16)	(139)
株式等関係損益	△12	△13	1	△22
その他臨時損益等	△8	△9	1	△20
経常利益 【△20】	7	△7	14	△99
特別損益	△2	△1	△1	△5
④ うち貸倒引当金純取崩益	-	-	-	-
⑤ うち償却債権取立益	1	0	1	0
税引前四半期(当期)純利益	5	△9	14	△103
四半期(当期)純利益 【5】	5	△17	22	△156

(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

(注2) コア業務純益(55億円) = 業務純益(72億円) + 一般貸倒引当金繰入額(△15億円) - 国債等債券損益(2億円)

(注3) 【 】は、平成20年12月26日に発表した平成20年度通期の業績予想。

■業績サマリー

経常収益 262億円

- 経常収益は貸出金利息の減少等を主因に前年同期比▲4億円の262億円となりました。

コア業務純益 55億円

- コア業務純益は業務粗利益の減少を経費削減等でカバーしきれず、前年同期比▲5億円の55億円となりました。

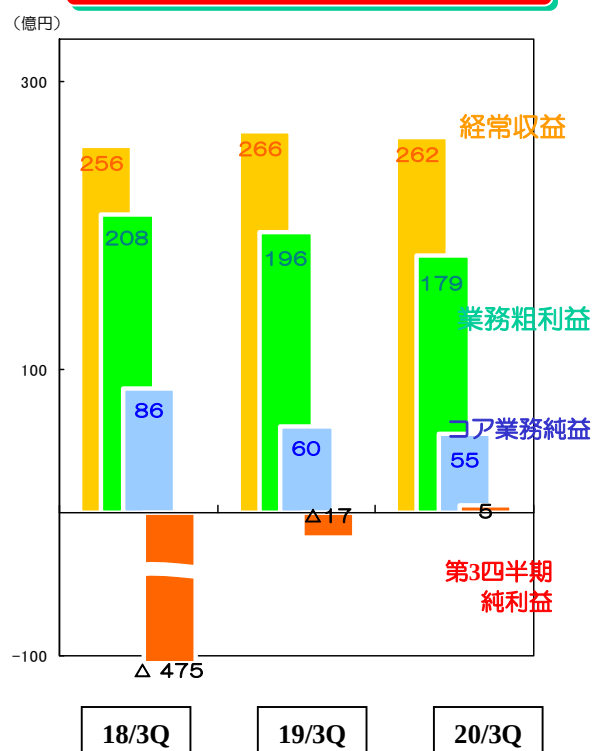
経常利益 7億円

- 経常利益は信用コストの減少等を主因に前年同期比+14億円の7億円となりました。

四半期純利益 5億円

- 四半期純利益は、以上により前年同期比+22億円の5億円となりました。

■ 損益の推移(3Q実績)



親和銀行単体

(単位:億円)

	平成20年度 第3四半期(9ヶ月)	平成19年度 第3四半期(9ヶ月)	前年同期比	(参考) 20年3月期
経常収益【500】	381	416	△35	551
業務粗利益	208	303	△95	371
資金利益	235	274	△39	355
役務取引等利益	35	44	△9	55
特定取引利益	-	-	-	-
その他業務利益	△62	△14	△48	△38
うち国債等債券損益	△59	△2	△57	△31
うち外為売買損益	1	1	0	1
経費(除く臨時処理分)	199	210	△11	275
① 一般貸倒引当金繰入額	-	306	△306	287
業務純益	9	△213	222	△191
コア業務純益【80】	69	95	△26	128
臨時損益等	△85	△690	605	△775
② 不良債権処理額	67	655	△588	705
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	-	-	-	-
(信用コスト①+②+③-④-⑤)	(5)	(940)	(△935)	(968)
株式等関係損益	△6	△12	6	△46
その他臨時損益等	△13	△23	10	△24
経常利益【△90】	△76	△903	827	△965
特別損益	55	△34	89	△40
④ うち貸倒引当金純取崩益	48	-	48	-
⑤ うち償却債権取立益	13	21	△8	24
税引前四半期(当期)純利益	△22	△937	915	△1,005
四半期(当期)純利益【30】	△12	△959	947	△1,024

(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

(注2) コア業務純益(69億円) = 業務純益(9億円) - 国債等債券損益(△59億円)

(注3) 【 】は、平成20年12月26日に発表した平成20年度通期の業績予想。

■業績サマリー

経常収益 381億円

- 経常収益は資金運用収益の減少等を主因に前年同期比▲35億円の381億円となりました。

コア業務純益 69億円

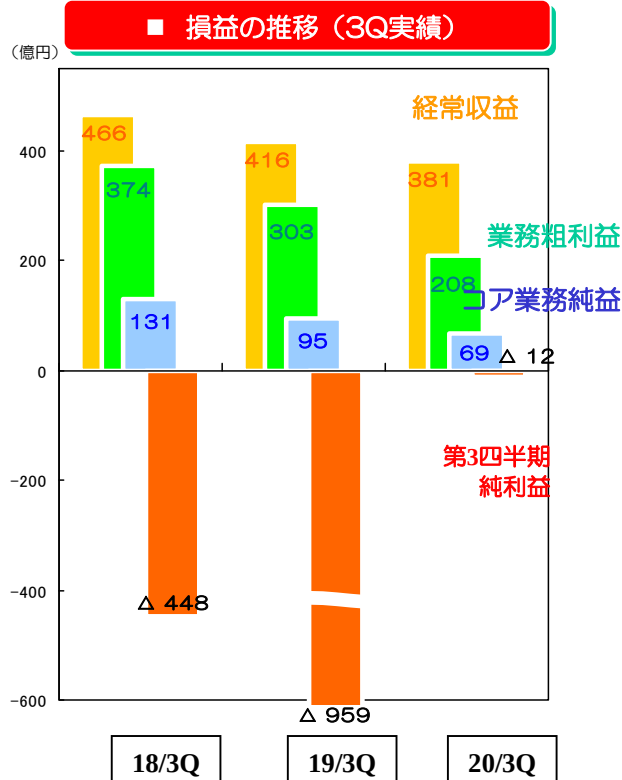
- コア業務純益は資金利益の減少を経費削減等でカバーしきれず、前年同期比▲26億円の69億円となりました。

経常利益 △76億円

- 経常利益は前年度にFFG基準での大幅な貸倒引当金の積増しを行ったため、信用コストが大幅に減少しましたが、業務粗利益の減少等により▲76億円となりました。

四半期純利益 △12億円

- 四半期純利益は上記要因に加え、特別利益として貸倒引当金取崩益48億円を計上したこと等により、前年同期比+947億円の▲12億円となりました。



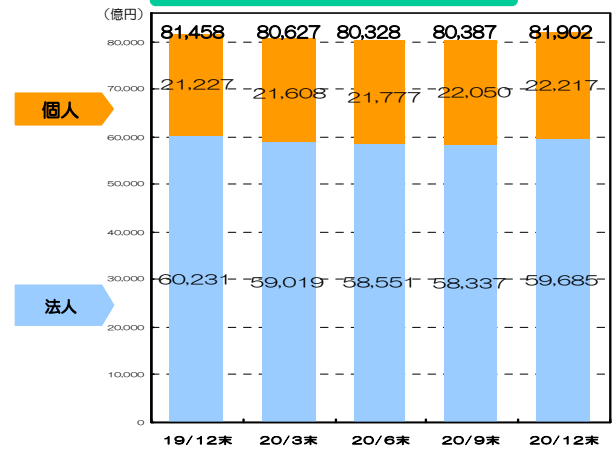
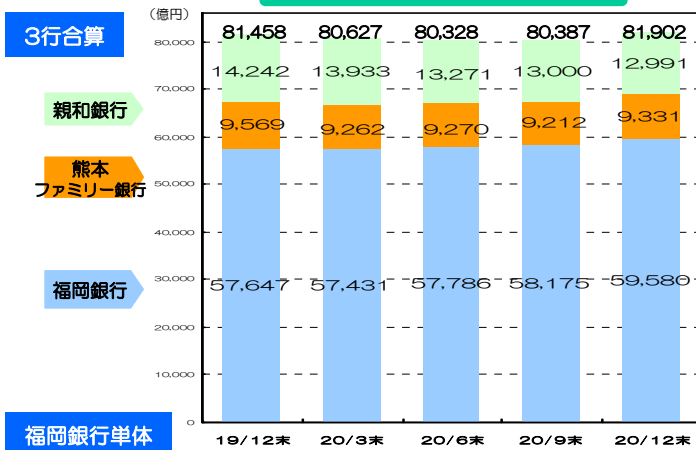
2. 資産・負債等の状況

㈱ふくおかフィナンシャルグループ(8354)平成21年3月期 第3四半期決算短信

(1) 貸出金の状況

■ 貸出金末残（銀行別）

■ 貸出金末残（セグメント別）



- 総貸出金は、20/9末比+1,405億円増加し、59,580億円（前年同期比+1,933億円、年率+3.4%）となりました。
- 部門別では、個人部門が20/9末比+115億円（前年同期比+751億円、年率+5.0%）、法人部門は同+1,290億円（同+1,182億円、年率+2.8%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総貸出金は、20/9末比+119億円増加し、9,331億円（前年同期比▲238億円、年率▲2.5%）となりました。
- 部門別では、個人部門が20/9末比+26億円（前年同期比+114億円、年率+3.9%）、法人部門は同+93億円（同▲352億円、年率▲5.3%）となりました。

親和銀行単体

- 総貸出金は、20/9末比▲9億円減少し、12,991億円（前年同期比▲1,251億円、年率▲8.8%）となりました。
- 部門別では、個人部門が20/9末比+25億円（前年同期比+124億円、年率+3.8%）、法人部門は同▲34億円（同▲1,376億円、年率▲12.5%）となりました。

3行合算	20年12月末						(単位:億円)		
		(年率: %)		20/9末比	20/3末比	19/12末比	20年9月末	20年3月末	19年12月末
	総貸出金	(0.5%)	81,902	1,515	1,275	444	80,387	80,627	81,458
	個人部門	(4.7%)	22,217	167	609	990	22,050	21,608	21,227
	法人部門	(Δ 0.9%)	59,685	1,348	666	Δ 546	58,337	59,019	60,231
	ローン残高	(5.5%)	20,761	220	711	1,081	20,541	20,050	19,680
	うち住宅ローン	(7.0%)	19,043	282	863	1,243	18,761	18,180	17,800
	中小企業等貸出金比率	-	72.7%	Δ 0.4%	Δ 1.1%	Δ 1.7%	73.1%	73.8%	74.4%
福岡銀行単体	総貸出金	(3.4%)	59,580	1,405	2,149	1,933	58,175	57,431	57,647
	個人部門	(5.0%)	15,780	115	459	751	15,665	15,321	15,029
	法人部門	(2.8%)	43,800	1,290	1,689	1,182	42,510	42,111	42,618
	福岡県内貸出金	(4.3%)	47,286	1,442	1,877	1,935	45,844	45,409	45,351
	ローン残高	(5.1%)	15,529	145	491	760	15,384	15,038	14,769
	うち住宅ローン	(6.2%)	14,336	188	576	834	14,148	13,760	13,502
	中小企業等貸出金比率	-	69.2%	Δ 0.5%	Δ 1.3%	Δ 1.3%	69.7%	70.5%	70.5%
熊本ファミリー銀行単体	総貸出金	(Δ 2.5%)	9,331	119	69	Δ 238	9,212	9,262	9,569
	個人部門	(3.9%)	3,049	26	98	114	3,023	2,951	2,935
	法人部門	(Δ 5.3%)	6,282	93	Δ 29	Δ 352	6,189	6,311	6,634
	熊本県内貸出金	(1.6%)	8,196	135	172	132	8,061	8,024	8,064
	ローン残高	(4.8%)	2,579	28	107	119	2,551	2,472	2,460
	うち住宅ローン	(7.2%)	2,387	38	139	160	2,349	2,248	2,227
	中小企業等貸出金比率	-	89.5%	0.4%	Δ 1.2%	Δ 1.0%	89.1%	90.7%	90.5%
親和銀行単体	総貸出金	(Δ 8.8%)	12,991	Δ 9	Δ 942	Δ 1,251	13,000	13,933	14,242
	個人部門	(3.8%)	3,387	25	51	124	3,362	3,336	3,263
	法人部門	(Δ 12.5%)	9,603	Δ 34	Δ 995	Δ 1,376	9,637	10,598	10,979
	長崎県内貸出金	(Δ 3.7%)	8,655	Δ 21	Δ 549	Δ 334	8,676	9,204	8,989
	ローン残高	(8.2%)	2,652	45	112	202	2,607	2,540	2,450
	うち住宅ローン	(12.0%)	2,319	55	148	248	2,264	2,171	2,071
	中小企業等貸出金比率	-	77.1%	0.4%	0.6%	Δ 2.0%	76.7%	76.5%	79.1%

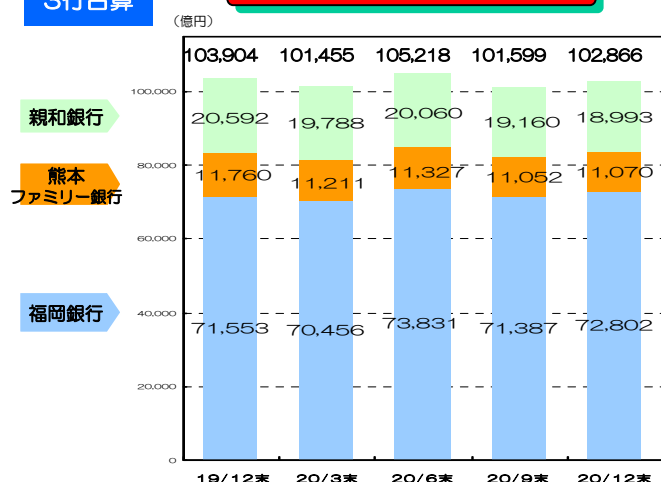
(注) 貸出金には、福岡銀行のFFG向け貸出金（20年12月末・20年9月末・20年3月末 700億円、19年12月末 1,200億円）及び熊本ファミリー銀行向け貸出金（20年12月末・20年9月末・20年3月末・19年12月末 100億円）を含んでおります。

(2) 預金の状況

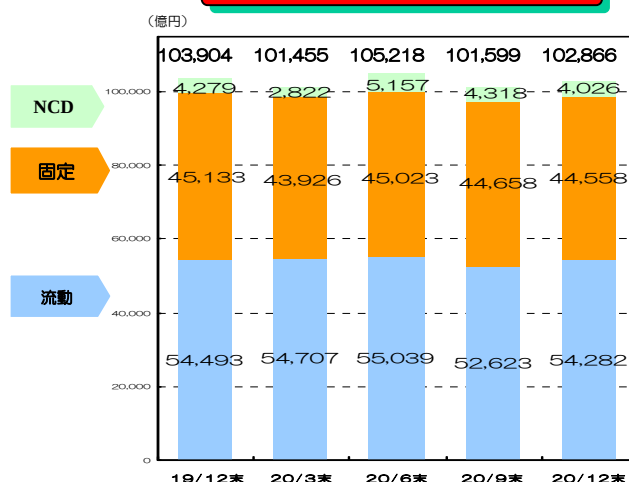
㈱ふくおかフィナンシャルグループ(8354)平成21年3月期 第3四半期決算短信

3行合算

■ 預金・NCD末残（銀行別）



■ 預金・NCD末残（セグメント別）



福岡銀行単体

- 総資金は、20/9末比+1,415億円増加し、72,802億円（前年同期比+1,249億円、年率+1.7%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、20/9末比+1,279億円（前年同期比+2,064億円、年率+4.2%）、法人預金は同+357億円（同▲584億円、年率▲3.0%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総資金は、20/9末比+18億円増加し、11,070億円（前年同期比▲690億円、年率▲5.9%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、20/9末比▲16億円（前年同期比▲338億円、年率▲3.8%）、法人預金は同+34億円（同▲352億円、年率▲12.3%）となりました。

親和銀行単体

- 総資金は、20/9末比▲167億円減少し、18,993億円（前年同期比▲1,599億円、年率▲7.8%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、20/9末比▲11億円（前年同期比▲1,203億円、年率▲8.2%）、法人預金は同▲85億円（同▲372億円、年率▲6.9%）となりました。

(単位:億円)

3行合算	20年12月末 (年率:%)						20年9月末	20年3月末	19年12月末
		20/9末比	20/3末比	19/12末比					
個人預金	(0.7%)	72,658	1,253	1,713	523		71,405	70,945	72,135
法人預金	(△ 4.8%)	26,182	306	△ 1,506	△ 1,309		25,876	27,688	27,491
合計	(△ 0.8%)	98,840	1,559	207	△ 785		97,281	98,633	99,625
流動性	(△ 0.4%)	54,282	1,659	△ 425	△ 211		52,623	54,707	54,493
固定性	(△ 1.3%)	44,558	△ 100	632	△ 575		44,658	43,926	45,133
総資金(預金+NCD)	(△ 1.0%)	102,866	1,267	1,411	△ 1,038		101,599	101,455	103,904

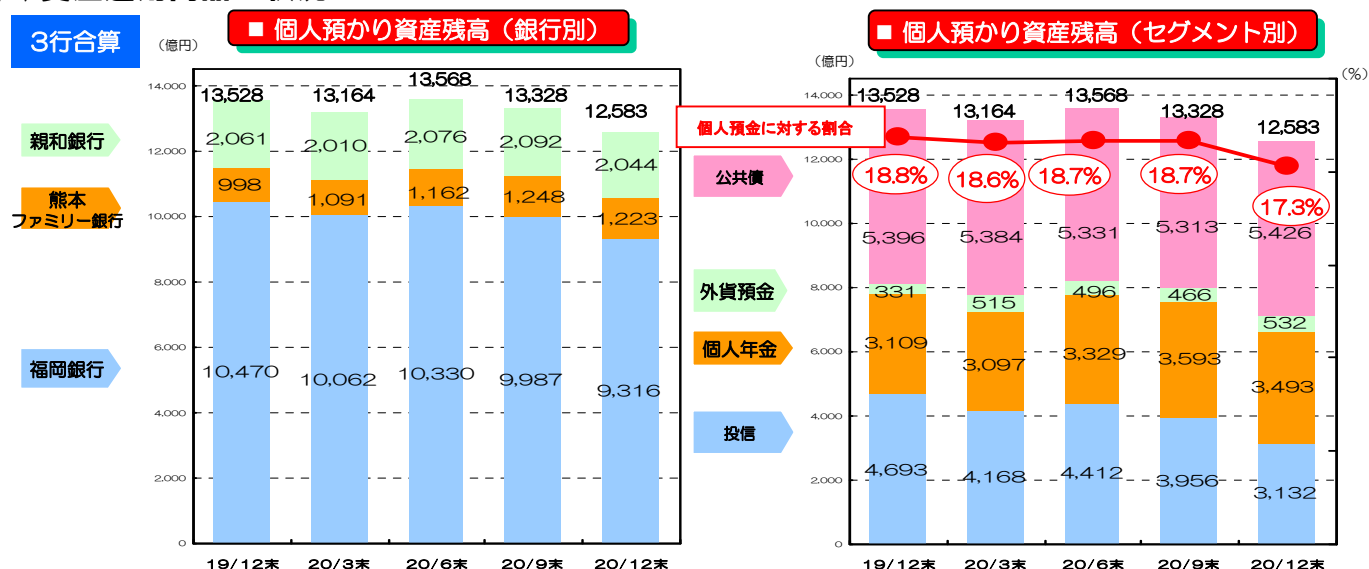
福岡銀行単体	個人預金	(4.2%)	50,713	1,279	2,403	2,064	49,434	48,310	48,649
	法人預金	(△ 3.0%)	18,640	357	△ 1,135	△ 584	18,283	19,775	19,224
	合計	(2.2%)	69,353	1,637	1,268	1,480	67,716	68,085	67,873
	流動性	(0.3%)	41,356	1,247	△ 349	140	40,109	41,705	41,216
	固定性	(5.0%)	27,997	390	1,617	1,340	27,607	26,380	26,657
	総資金(預金+NCD)	(1.7%)	72,802	1,415	2,346	1,249	71,387	70,456	71,553
	福岡県内預金	(2.3%)	65,231	1,518	1,661	1,479	63,713	63,570	63,752

熊本ファミリー銀行単体	個人預金	(△ 3.8%)	8,561	△ 16	△ 123	△ 338	8,577	8,684	8,899
	法人預金	(△ 12.3%)	2,509	34	△ 18	△ 352	2,475	2,527	2,861
	合計	(△ 5.9%)	11,070	18	△ 141	△ 690	11,052	11,211	11,760
	流動性	(△ 1.0%)	4,195	148	124	△ 42	4,047	4,071	4,237
	固定性	(△ 8.6%)	6,876	△ 129	△ 264	△ 647	7,005	7,140	7,523
	総資金(預金+NCD)	(△ 5.9%)	11,070	18	△ 141	△ 690	11,052	11,211	11,760
	熊本県内預金	(△ 4.0%)	10,146	30	△ 87	△ 419	10,116	10,233	10,565

親和銀行単体	個人預金	(△ 8.2%)	13,383	△ 11	△ 568	△ 1,203	13,394	13,951	14,586
	法人預金	(△ 6.9%)	5,033	△ 85	△ 353	△ 372	5,118	5,386	5,405
	合計	(△ 7.9%)	18,416	△ 96	△ 921	△ 1,576	18,512	19,337	19,992
	流動性	(△ 3.4%)	8,731	264	△ 200	△ 309	8,467	8,931	9,040
	固定性	(△ 11.6%)	9,685	△ 360	△ 721	△ 1,267	10,045	10,406	10,952
	総資金(預金+NCD)	(△ 7.8%)	18,993	△ 167	△ 795	△ 1,599	19,160	19,788	20,592
	長崎県内預金	(△ 0.4%)	15,314	91	88	△ 62	15,223	15,226	15,376

(3) 資産運用商品の状況

㈱ふくおかフィナンシャルグループ(8354)平成21年3月期 第3四半期決算短信



福岡銀行単体

- 個人預かり資産(投資信託、個人年金、外貨預金、公共債)の残高は、20/9末比▲671億円減少し、9,316億円(前年同期比▲1,154億円、年率▲11.0%)となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 個人預かり資産の残高は、20/9末比▲25億円減少し、1,223億円(前年同期比+225億円、年率+22.5%)となりました。

親和銀行単体

- 個人預かり資産の残高は、20/9末比▲48億円減少し、2,044億円(前年同期比▲17億円、年率▲0.8%)となりました。

		20年12月末 (年率：％)				(単位:億円)			
				20/9末比	20/3末比	19/12末比	20年9月末	20年3月末	19年12月末
3行合算	投資信託	(△ 33.3%)	3,132	△ 824	△ 1,036	△ 1,561	3,956	4,168	4,693
	個人年金保険	(12.4%)	3,493	△ 100	396	384	3,593	3,097	3,109
	外貨預金	(61.0%)	532	66	17	201	466	515	331
	公共債	(0.5%)	5,426	113	42	30	5,313	5,384	5,396
	合 計	(△ 7.0%)	12,583	△ 745	△ 581	△ 945	13,328	13,164	13,528
	個人預金に占める割合	—	17.3%	△ 1.4%	△ 1.3%	△ 1.5%	18.7%	18.6%	18.8%
福岡銀行	投資信託	(△ 34.2%)	2,266	△ 619	△ 768	△ 1,180	2,885	3,034	3,446
	個人年金保険	(△ 0.3%)	2,200	△ 147	104	△ 6	2,347	2,096	2,206
	外貨預金	(29.4%)	408	29	△ 44	93	379	452	315
	公共債	(△ 1.3%)	4,442	66	△ 38	△ 60	4,376	4,480	4,502
	合 計	(△ 11.0%)	9,316	△ 671	△ 746	△ 1,154	9,987	10,062	10,470
	個人預金に占める割合	—	18.4%	△ 1.8%	△ 2.4%	△ 3.1%	20.2%	20.8%	21.5%
熊本ファミリー銀行	投資信託	(△ 27.9%)	300	△ 70	△ 74	△ 116	370	374	416
	個人年金保険	(50.2%)	608	15	122	204	593	486	404
	外貨預金	(510.7%)	84	13	24	70	71	60	14
	公共債	(41.4%)	231	16	60	67	215	171	164
	合 計	(22.5%)	1,223	△ 25	132	225	1,248	1,091	998
	個人預金に占める割合	—	14.3%	△ 0.3%	1.7%	3.1%	14.6%	12.6%	11.2%
親和銀行	投資信託	(△ 31.9%)	565	△ 136	△ 194	△ 265	701	759	830
	個人年金保険	(37.6%)	686	33	170	187	653	516	499
	外貨預金	(2239.3%)	40	23	37	38	17	3	2
	公共債	(3.0%)	752	30	19	22	722	733	730
	合 計	(△ 0.8%)	2,044	△ 48	34	△ 17	2,092	2,010	2,061
	個人預金に占める割合	—	15.3%	△ 0.3%	0.9%	1.2%	15.6%	14.4%	14.1%

(4) 有価証券の状況

① 時価のある有価証券の評価差額

FFG連結

- 時価のある其他有価証券残高は、20/9末比▲769億円減少し、21,083億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、20/9末比+185億円増加し、264億円となりました。

福岡銀行連結

- 時価のある其他有価証券残高は、20/9末比▲715億円減少し、13,297億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、20/9末比+138億円増加し、244億円となりました。

熊本ファミリー銀行連結

- 時価のある其他有価証券残高は、20/9末比▲53億円減少し、2,144億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、20/9末比+17億円増加し、▲5億円となりました。

親和銀行連結

- 時価のある其他有価証券残高は、20/9末比▲4億円減少し、5,657億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、20/9末比+61億円増加し、13億円となりました。

		20年12月末								(単位:億円)
		時 価	20/9末比	評価差額	うち評価益	うち評価損	20/9末比	20/3末比	19/12末比	19年12月末
FFG連結	其他有価証券	21,083	△ 769	264	550	285	185	△ 6	△ 160	424
	株式	957	△ 89	144	288	144	△ 61	△ 201	△ 329	473
	債券	15,830	7	188	203	15	155	227	218	△ 30
	国債	7,156	△ 41	103	108	5	55	202	150	△ 47
	地方債	408	△ 16	5	5	0	5	1	3	2
	社債	8,266	64	80	90	10	95	24	64	16
	その他	4,297	△ 687	△ 68	59	127	91	△ 31	△ 49	△ 19
福岡銀行連結	其他有価証券	13,297	△ 715	244	447	203	138	△ 53	△ 226	470
	株式	778	△ 54	234	307	72	△ 35	△ 151	△ 309	543
	債券	8,367	△ 1	68	82	13	88	132	129	△ 61
	国債	2,383	17	10	15	5	18	120	82	△ 72
	地方債	210	△ 10	2	2	-	2	△ 0	1	1
	社債	5,775	△ 7	56	64	8	68	12	46	10
	その他	4,152	△ 660	△ 58	59	117	86	△ 34	△ 47	△ 11
熊本ファミリー銀行連結	其他有価証券	2,144	△ 53	△ 5	26	31	17	13	5	△ 10
	株式	81	△ 15	△ 29	1	29	△ 0	△ 7	△ 17	△ 12
	債券	2,063	△ 37	23	25	2	17	19	21	2
	国債	1,571	32	20	20	0	13	19	20	△ 0
	地方債	3	2	0	0	0	0	△ 0	△ 0	0
	社債	488	△ 72	4	5	1	4	0	2	2
	その他	1	△ 0	△ 0	-	0	0	△ 0	△ 0	0
親和銀行連結	其他有価証券	5,657	△ 4	13	70	57	61	56	25	△ 12
	株式	108	△ 23	△ 37	6	43	2	△ 30	△ 55	18
	債券	5,405	46	61	64	3	53	82	76	△ 15
	国債	3,202	△ 90	40	41	2	26	69	57	△ 17
	地方債	196	△ 7	1	2	1	2	1	2	△ 0
	社債	2,007	142	20	21	0	25	13	18	2
	その他	144	△ 27	△ 12	-	12	5	3	3	△ 15

(注) 保有する有価証券のうち、変動利付国債については、従来、連結決算日の市場価格等をもって貸借対照表価額としておりましたが、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第25号 平成20年10月28日)を踏まえ、中間連結会計期間から、合理的に算定された価額をもって貸借対照表価額としております。

これにより、市場価格等をもって貸借対照表価額とした場合に比べ、「有価証券」が199億8千7百万円増加、「繰延税金資産」が63億1千万円減少、「其他有価証券評価差額金」が136億円7千7百万円増加しております。

なお、変動利付国債の合理的に算定された価額は、国債の利回り等から見積もった将来キャッシュフローを、国債の利回り曲線に基づく割引率を用いて割り引くことにより算定しており、国債の利回りが主な価格決定変数であります。

②その他有価証券の減損処理

- 当社グループの平成20年12月末における「その他有価証券」の減損処理は以下のとおりです。

※平成19年第3四半期の【FFG連結】には、親和銀行連結の19年度上期損益は含まれておりません。

(単位:億円)

	平成20年度第3四半期(9ヶ月累計)				平成19年度 第3四半期 (9ヶ月累計)
	株式	債券	その他有価証券 の減損処理額	前年同期比	
福岡銀行連結	40	50	90	2	88
熊本ファミリー銀行連結	19	-	19	1	18
親和銀行連結	21	51	72	53	19
FFG連結	50	101	151	45	106

FFG連結においては、企業結合会計(パーチェス法)に則り、熊本ファミリー銀行が保有するその他有価証券については平成19年3月末日の時価を、親和銀行が保有するその他有価証券については平成19年9月末日の時価を取得原価としております。

- (注) その他有価証券で時価(市場価格又は合理的に算定された価額)のあるもののうち、当該有価証券の時価が取得原価に比べて著しく下落しており、時価が取得原価まで回復する見込みがあると認められないものについては、当該時価をもって第3四半期連結貸借対照表価額とするとともに、評価差額を第3四半期連結会計期間の損失として処理(以下「減損処理」という。)しております。
- また、時価が「著しく下落した」と判断するための基準は、資産の自己査定基準において、有価証券の発行会社の区分毎に以下のとおり定めております。

破綻先、実質破綻先、破綻懸念先	時価が取得原価に比べて下落
要注意先	時価が取得原価に比べて30%以上下落
正常先	時価が取得原価に比べて50%以上下落又は、時価が取得原価に比べ30%以上50%未満下落したもので市場価格が一定水準以下で推移等

なお、破綻先とは、破産、特別清算、手形取引所における取引停止処分等、法的・形式的に経営破綻の事実が発生している発行会社、実質破綻先とは、実質的に経営破綻に陥っている発行会社、破綻懸念先とは、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる発行会社であります。要注意先とは、今後の管理に注意を要する発行会社であります。正常先とは、上記破綻先、実質破綻先、破綻懸念先及び要注意先以外の発行会社であります。

また、従来は、その他有価証券で時価のあるもののうち、時価が取得原価の30%以上下落した銘柄については、全て当該時価をもって連結貸借対照表価額とするとともに、評価差額を損失として減損処理しておりましたが、平成20年4月より減損判定基準を金融環境の変化等を踏まえ、上記基準に変更しております。この変更により、有価証券の減損額は、当第3四半期(9ヶ月累計)では14,065百万円減少しております。

③債務担保証券(CDO)の保有状況と減損処理

- 当社グループでは、サブプライムローンに直接関連した金融商品は保有しておりませんが、国内外企業のCDS(クレジット・デフォルト・スワップ)を裏付けとした債務担保証券(CDO)の一部は、信用市場混乱の影響を受け価格が下落したため、減損処理を行いました。
- 当社グループの債務担保証券(CDO)の保有状況は以下のとおりです。

(単位:億円)

	銘柄数	平成20年度第3四半期 (9ヶ月累計)減損額	時価一期末簿価 (20年12月末)	評価差額 (20年12月末)
福岡銀行連結	6	△50	40	△8
熊本ファミリー銀行連結	-	-	-	-
親和銀行連結	6	△32	9	-
FFG連結	12	△83	49	△8

3. 金融再生法ベースの 카테고리による開示

㈱ふくおかフィナンシャルグループ(8354)平成21年3月期 第3四半期決算短信

3行合算+分割子会社

【部分直接償却後】

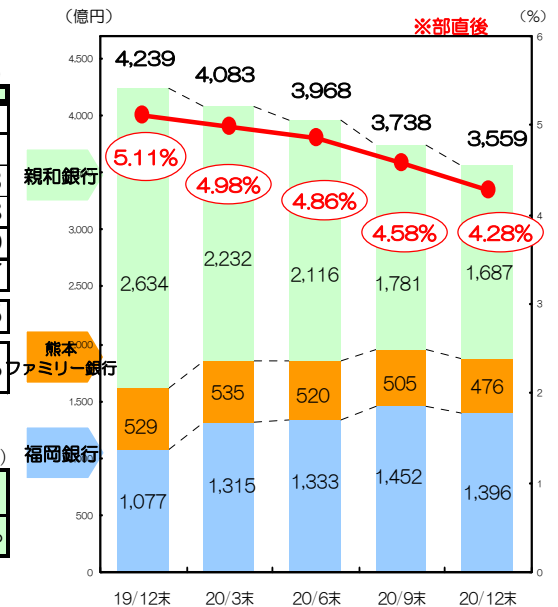
■開示債権残高（各子銀行の部分直接償却後の残高を合算しております。）

	20年12月末	20/9末比	20/3末比	19/12末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	950	162	384	211
危険債権	1,532	△ 98	△ 451	△ 413
要管理債権	1,077	△ 244	△ 457	△ 478
①合 計（金融再生法開示債権）	3,559	△ 179	△ 524	△ 680
正常債権	79,519	1,695	1,580	857
②総与信残高	83,077	1,515	1,056	175
総与信に占める金融再生法開示債権 ①/②	4.28%	△0.30%	△0.70%	△0.83%

■保全率【20年12月末】（各子銀行の部分直接償却後の計数を合算しております。）

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
金融再生法開示債権	3,559	2,815	1,362	1,454	79.1%

■開示不良債権残高（銀行別）



福岡銀行単体

- 金融再生法開示債権残高は、20/9末比▲7億円減少し、1,692億円（前年同期比+458億円）となりました。総与信に占める開示債権の割合（不良債権比率）は、同▲0.08%減少し、2.79%（同+0.69%）となりました。（部分直接償却前）

【参考】

部分直接償却を実施した場合の開示債権残高は、20/9末比▲56億円減少し、1,396億円（前年同期比+319億円）となります。また不良債権比率は、同▲0.15%減少し、2.31%（同+0.47%）となります。

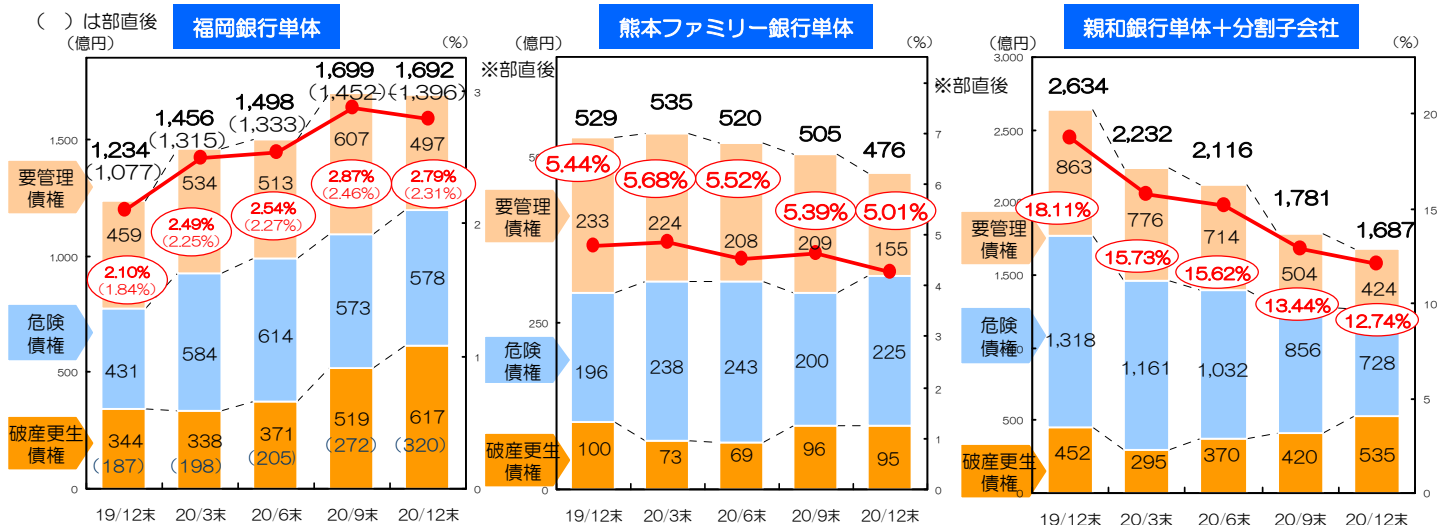
熊本ファミリー銀行単体

- 開示債権残高は、20/9末比▲29億円減少し、476億円（前年同期比▲53億円）となりました。（部分直接償却後）
- また、不良債権比率は、同▲0.38%減少し、5.01%（同▲0.43%）となりました。

親和銀行単体+分割子会社

- 開示債権残高は、20/9末比▲94億円減少し、1,687億円（前年同期比▲947億円）となりました。（部分直接償却後）
- また、不良債権比率は、同▲0.70%減少し、12.74%（同▲5.37%）となりました。

■開示不良債権残高・比率



（注）上記グラフの平成20年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリにより分類しております。また、各開示区分の金額は、平成20年9月末から同12月末までの倒産・不渡り等の客観的な事実及び各子銀行の行内格付の変動を反映させた同12月末時点での債務者格付・自己査定基準に基づく残高を記載しております。

【債務者区分との関係】

○破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・「実質破綻先」及び「破綻先」の債権

○危険債権・・・「破綻懸念先」の債権

○要管理債権・・・要注目のうち、債権毎の区分で「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権

なお、熊本ファミリー銀行及び親和銀行（分割子会社含む）の開示債権額は、部分直接償却後の金額を記載しております。福岡銀行は部分直接償却を実施していませんが、参考として（ ）内に部分直接償却を実施した場合の金額を記載しております。

4. デリバティブ取引

FFG連結

(1) 金利関連取引

(単位:億円)

区分	種 類	20年12月末			20年9月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
金融商品取引所	金利先物	—	—	—	—	—	—
店頭	金利スワップ [○]	5,084	13	13	5,074	12	12
	金利スワップ [○] ション	49	0	0	53	1	1
	キャップ	372	△ 0	1	403	△ 0	1
	フロア	119	0	0	128	0	0
合 計			13	14		13	13

(注) ヘッジ会計適用分を除く

(2) 通貨関連取引

(単位:億円)

区分	種 類	20年12月末			20年9月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
店頭	通貨スワップ [○]	10,474	21	21	10,647	21	20
	為替予約	601	2	2	323	1	1
	通貨 [○] ション	10	0	0	386	0	1
合 計			23	22		22	22

(注) ヘッジ会計適用分を除く

(3) 債券関連取引

(単位:億円)

区分	種 類	20年12月末			20年9月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
金融商品取引所	債券先物	3	△ 0	△ 0	2	0	0
合 計			△ 0	△ 0		0	0

(注) ヘッジ会計適用分を除く

(4) クレジットデリバティブ取引

(単位:億円)

区分	種 類	20年12月末			20年9月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・スワップ [○]	180	△ 6	△ 6	180	△ 1	△ 1
合 計			△ 6	△ 6		△ 1	△ 1

(注) ヘッジ会計適用分を除く

(5) 複合金融商品関連取引

(単位:億円)

区分	種 類	20年12月末			20年9月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
市場取引以外の取引	複合金融商品	70	△ 12	△ 12	100	△ 17	△ 17
合 計			△ 12	△ 12		△ 17	△ 17

(6) 株式関連取引、商品関連取引、その他

該当ございません。

5. 自己資本比率について

平成20年12月末時点の自己資本比率につきましては、現在算定中であり、確定次第開示いたします。